

受験番号	次世代学校教育創成 サブプログラム
------	----------------------

令和7年度
筑波大学大学院 教育学学位プログラム 博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題（10月実施）

現職教員 1年制プログラム 小論文

（10:00～12:00）

解答要領

次の事項に注意して解答しなさい。

1. 「解答はじめ」の合図があるまでは解答を始めてはいけません。
2. 「解答やめ」の合図があれば直ちに筆記用具を置いてください。合図の後も筆記用具を持っている場合には不正行為と見なします。
3. 小論文の問題用紙の枚数は「スクールリーダーシップ開発分野」が1枚です。
4. 解答する問題の番号を解答用紙の最初に記入してください。
5. 使用する解答用紙の枚数は、各問いの指示に従ってください。指示がない場合は、使用する枚数は任意とします。解答用紙のホチキスは外さないでください。
6. 日本語で解答してください。

【 令和7年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

学校教育領域

小論文（スクールリーダーシップ開発分野）

1枚のうち 1枚目

次の2つの問いの両方に答えなさい。解答用紙の使用枚数の指定はありませんが、解答の際は必ず問題番号を明示し、それぞれに別の解答用紙を使用してください。

問題 1.

「非認知能力 (non-cognitive abilities/skills)」とはどのような特徴を持つ能力で、それを如何に育成することができるか。非認知能力の具体例を挙げながら、その特徴と育成の方法について論じなさい。

問題 2.

日本で2000年代以降、各地の教育委員会で導入され、全国的に広がった「新しい教員評価」では、評価結果を何らかの形で教員の処遇に反映させるものが多くみられる。このような教員評価制度が導入されてきた背景や影響について整理し、教員評価 (teacher evaluation) の在り方についてあなたの考えを論じなさい。

令和7年度入学試験（10月実施）
現職教員1年制プログラム 小論文（学校教育領域）
解答例（採点基準）・出題意図

令和7年度(10月実施) 教育学学位 P(次世代 SP) 入学試験問題
社会人特別選抜・現職教員1年制プログラム 小論文(スクールリーダーシップ開発分野)

問題 1.

【問題】

「非認知能力 (non-cognitive abilities/skills)」とはどのような特徴を持つ能力で、それを如何に育成することができるか。非認知能力の具体例を挙げながら、その特徴と育成の方法について論じなさい。

【解答例（採点基準）】

- ・ 非認知能力とはどのような特徴を持つのかという点について、例えばペーパーテストでの測定の困難性や、認知的能力を下支えする力として注目を浴びていることなど、認知的能力との相違点を手がかりにしながらかその特徴について言及していること。
- ・ 例えば好奇心や共感性など、非認知能力を構成する具体的な能力、スキル、もしくは特性について言及していること。
- ・ 非認知能力の育成方法について、例えば幼児教育や学校での授業場面など具体的なシチュエーションを含めながら論述することができていること。
- ・ 記述が論理的であるとともに、表現が適切であること。

問題 2.

【問題】

日本で2000年代以降、各地の教育委員会で導入され、全国的に広がった「新しい教員評価」では、評価結果を何らかの形で教員の処遇に反映させるものが多くみられる。このような教員評価制度が導入されてきた背景や影響について整理し、教員評価 (teacher evaluation) の在り方についてあなたの考えを論じなさい。

【解答例（採点基準）】

- ・ 新しい教員評価制度が導入されてきた背景（例えば教育諸問題の深刻化や「指導力不足教員」問題への注目、公務員の能力評価・業績評価の提唱と2016年地方公務員法改正による公務員の人事評価義務づけなど）について説明されていること。
- ・ 教員評価がもたらす影響（例えば教員の職能成長、教員のモチベーション、教員の同僚性への影響等）について述べられていること。
- ・ こうした影響や実態も踏まえながら、教員評価の在り方について論じられていること。
- ・ 記述が論理的であるとともに、表現が適切であること。

【出題意図】

昨今の学校教育をめぐる重要概念（問題1）や政策用語（問題2）を主題とした問題を通じて、それらの基礎的知識の理解度を確認するとともに、学校教育の課題についての分析・考察力を問う。また、論述式での回答を通じて、受験者が大学院で研究するうえでの文章構成・執筆能力を確認する。